

県民意見の概要資料（委員会指摘反映済）

資料3-1

大分類	中分類	小分類	意見の概要
(642)	基本方針と検討の進め方 (ステップ1)	検討開始のねらい (105)	(4) ■鉄軌道は、他の施策より優先度が低いのではないかと。他の施策を優先してほしい。
			(31) ■鉄道整備の検討を始めるのが遅いのではないかと。
		進め方に関する基本姿勢 (54)	(6) ■検討プロセス全体を通じて、透明性、合理性、客観性、公平性の確保に努めてほしい。
			(21) ■慎重に検討を進めてほしい。
			(5) ■企業の利権とは切り離して、県民の声を聴きながら進めてほしい。
			(3) ■県全体で取り組んでほしい。
			(10) ■数十年先の長期を見据えた計画を検討してほしい。
			(9) ■鉄軌道の導入ありきで検討しないでほしい。
		検討のスケジュール (16)	(16) ■検討のスピードをあげてほしい。
		検討の進め方 (85)	県民参画 (13)
	(9) ■県民として検討に協力していきたい。		
	検討の進め方について (72)		(22) ■外国を含め先進事例を参照しながら検討を進めてほしい。
			(23) ■あらゆる可能性を視野に入れて、整備案を幅広く検討してほしい。
			(9) ■メリットは大きい課題・問題も多そう。
			(10) ■デメリットも含めた検討が必要だ。
			(3) ■大学などの教育機関と連携して幅広く検討してはどうか。
	(5) ■誰のための鉄軌道なのか対象者を明確にしたほうがよい。		
	コミュニケーション (427)	認知の向上や関心の喚起 (120)	(7) ■県民に広く広報することは、とてもいい取組みであり、プロジェクトについて考えるきっかけになった。
			(12) ■ラジオやテレビ、新聞を活用して広く周知してほしい。
			(5) ■多くの県民に関心を持ってもらえるよう工夫する必要がある。
			(11) ■今回初めて取組を知った。
			(14) ■公共交通を利用したい、利用すべきと思った。
			(57) ■多くの人に知ってもらう工夫が必要である。
			(4) ■多くの人の理解を得られることが必要である。
			(5) ■インターネットやSNSで広報すべきである。
(5) ■高齢者や若者を意識した広報を行うべきである。			
情報提供 (303)			(29) ■子どもからお年寄りまで誰もが理解しやすいよう、分かりやすく情報提供してほしい。
		(30) ■短中長期の取組により、どのように生活が変化するのかを示してほしい。	
		(49) ■短中期、長期のタイムスケジュールがわからない。	
		(50) ■計画の具体的な内容や試算結果について知りたい。	
		(59) ■沖縄鉄軌道ニュースの内容がわかりづらく、理解できなかった。	
		(15) ■沖縄鉄軌道ニュースの内容がわかりやすく理解が進んだ。	
		(4) ■関心があるので引き続き、情報提供してほしい。	
		(2) ■県の取組みをオープンにし、県民と意見交換しながら計画検討を進めることは、良い取組だと思う。	
(44) ■県内の専門家や青少年、子育て世代など幅広い年齢・属性の住民から意見を聞いてもらいたい。			
(12) ■幅広い県民の多様な意見を聞き取れるよう、様々なツール(手段)を使って意見を言えるようにしてほしい。			
(9) ■アンケートの問いかけがわかりづらい、何に対する意見を求めているのかはっきりさせた上で意見を募集してほしい。			
意見への対応 (4)	(4) ■多くの県民の意見を反映しながら、検討を進めてほしい。		
	(4)		
検討体制 (25)	検討の体制 (25)	(8) ■検討の場には、鉄道会社等、民間から専門知識を持ったメンバーを加えてほしい。	
		(1) (市町村会議意見) ■バスレーンなど交通規制に関連する施策では警察との調整が大変だが、交通管理者とのかかわりはどう考えているのか。できるだけ早く関係機関に加えたほうが良いのではないかと。	
		(12) ■広く市町村やその市民との協議の上でプロジェクトを進めてほしい。	
		(1) (関係機関等意見交換会意見) ■フィーダー交通については、市町村も巻き込んで検討を行うべき。	
		(3) ■その他	

大分類	中分類	小分類	意見の概要	
現状及び課題、将来像、評価の視点について（ステップ2） (7004)	現状・課題について (433)	陸上交通について (185)	(88) ■バス停上屋、便数や運行時間、定時性等バス等の利便性に課題がある。 (県民会議共通意見)	
			(1) ■便数や運行時間、定時性、経路等バス等の利便性に課題がある。 (県民会議共通意見)	
			(4) ■交通手段間の乗り継ぎが悪く高齢者、観光の観点から課題。 (県民会議共通意見)	
			(51) ■現在の公共交通の利用料金が高額である。 (県民会議共通意見)	
			(12) ■現状はクルマ以外の選択肢が無く、車利用による交通渋滞、健康、飲酒問題等について意見が出された。 (県民会議共通意見)	
			(18) ■交通事業者のマナーの改善等意識の向上等が課題。	
			(1) ■交通事業者のマナーは改善されつつある。	
			(10) ■レンタカーが多い。	
			現在の取組について	(31) ■IC乗車券システムやバスレーン延長等、現在取り組んでいる公共交通利用促進の取り組みは良い。
				(32) (1) ■その他
			公共交通の利用促進について (216)	(26) ■高齢者などに対する割引運賃やバスとの乗継割引制度の導入など公共交通の低料金化を図ってほしい。
				(8) ■路線バスの無料化を図るなど、既存の公共交通利用の活性化に取り組んだ後、鉄軌道を導入すべきだ。
				(14) ■現状の課題解決に向け利便性向上等、公共交通の利用促進に取り組むべき。
				(74) ■現況のバスの使い勝手が良くなる様に、路線の再編と運行時間や乗り換えがわかりやすいシステムづくりをしてほしい。
				(6) ■バスレーン延長は不要とする意見
	(8) ■バスレーンの拡充を求める意見			
	(16) ■中短期の取り組みとしてバス網整備とモノレールとの連携を実施してほしい。			
	(11) ■モノレール駅等の駐車場整備を求める意見			
	(3) ■観光客の移動手段をレンタカーから公共交通に転換すべき。			
	(50) ■ICカードについては、SUICAとの相互利用等、利便性を向上してほしい。			
	将来像・対策について (2705)	地域の活性化 (261)	県土の均衡ある発展	(84) ■沖縄全体が一つの都市圏となり、経済や観光の発展につながることを期待する意見
				(14) ■都市の一極集中から人口分散につながることを期待する意見
			北部の活性化	(115) (17) ■公共交通の利便性が向上すると観光だけでなく、地域の活性化も期待できる。
				(79) ■北部の人口増加や観光客増加など地域の発展を期待する意見
				(12) ■中南部と北部を一時間で結ぶことにより、ストロー効果による影響が懸念される (1) (関係機関等意見交換会意見) ■ストロー効果による影響等、メリット・デメリットを踏まえ、那覇一名護を1時間で結ぶ意義についてもっと議論すべき。
				(101) (1) (市町村会議意見) ■鉄軌道等整備による過疎化への影響を検討すべき。 (7) ■北部まで結ぶ必要はないのではないか。 (1) ■その他
			中南部の活性化 (20)	(20) ■中南部の活性化を求める意見
東海岸の活性化 (17)			(17) ■東海岸の活性化を求める意見	
離島振興 (8)			(8) ■離島住民も利用しやすい計画を求める意見	
観光振興 (94)			(94) ■将来の姿を実現すると観光振興が期待できる。	
物流 (10)			(10) ■鉄軌道による流通機能の向上を期待する意見	

大分類	中分類	小分類	意見の概要		
現状及び課題、将来像、評価の視点について（ステップ2） (7004)	将来像・対策について (2705)	移動利便性 (709)	速達性、定時性等 (148)	■北部と中南部間の移動時間の短縮等による利便性向上を期待する意見	
			(181)	■移動時間の短縮、定時性の確保等利便性の向上を期待する意見	
			(84)	■移動の選択肢が増えることを期待する意見	
			(7)	■1時間よりも速く移動できるようにすべき。	
			(12)	■あまり速さにこだわる必要はない。	
			(448)(1)	(関係機関等意見交換会意見) ■車窓から景色を楽しめるよう、1時間にこだわる必要はないのではないか。	
			(14)	■自転車やペット等も一緒に移動できるようにしてほしい。	
			(1)	■その他	
			通勤通学 (51)(23)	■時間短縮による通勤・通学圏域の拡大を期待する意見	
			(28)	■通勤・通学の利便性向上に期待する意見	
			交通弱者 (135)(138)	(3)	■高齢社会に向け、高齢者等の交通弱者、自動車を持っていない人などの移動利便性の向上が期待できる。 (関係機関等意見交換会意見) ■引きこもりがちな高齢者の外出を促すという視点も重要だ。
			観光客 (72)	(5)	■観光客が短時間で様々な場所を回れるようになる。
				(59)(1)	■観光客の移動利便性の向上を期待する意見 (関係機関等意見交換会意見) ■観光においては観光収入1兆円、観光客1000万人を目標に平成33年度までのロードマップを作成している。今後さらにレンタカー需要が増加、駐車場等のニーズが高くなることを認識して欲しい。鉄軌道の整備には時間を要するので、中短期的な取組を行ってほしい。
			渋滞緩和 (270)	(7)	■観光に資する公共交通があると良い。
				(47)	■早期の渋滞解消を求める意見
		(203)		■鉄軌道の導入で渋滞緩和が期待できる。	
		(9)		■鉄軌道では渋滞解消できない。	
		(5)		■道路整備だけでは渋滞は解消できない。	
		(5)		■人口減少社会への移行に伴い、渋滞の解消、鉄軌道利用者の減が見込まれるため鉄軌道は必要無い。	
		県民生活 (541)	安全・安心 (44)(47)	(3)	■交通事故、飲酒運転の減少を期待する意見 ■踏切設置に伴う事故を懸念する意見
			健康 (37)	(37)	■公共交通を利用し、歩く習慣がつくことによる健康増進や長寿を期待する意見
			経済性 (76)	(24)	■鉄道を利用することで、車の購入・維持費や生活費などの大きな経済的な負担が軽減されることを期待する意見
				(52)	■運賃をできるだけ安く抑えてほしい。
			県民生活の向上 (43)	(36)	■県民生活の向上を期待する意見
				(7)	■子供達の活動範囲が広がり社会経験もできる。
			ライフスタイルの 変革 (338)	(225)	■車依存型社会から脱却し公共交通利用転換を図るためには、県民の意識改革が必要とする意見
				(73)	■車依存型社会からの脱却が必要とする意見。
				(32)	■車の乗り入れ規制や公共交通利用促進のための取組により車依存型社会からの脱却を図る とする意見
			まちづくり (126)	駅周辺整備を含めた まちづくり (101)	(19)
		(70)			■鉄軌道をつくるだけでなく、駅周辺の道路や歩道、駐車場、駐輪場等の整備なども行い、駅を中心に快適に利用できるようにしてほしい。
		(11)(1)			■駅周辺は、ショッピングセンターなどの設備を充実させてほしい。 (市町村会議意見) ■交通結節点の整備は、土地の確保等自治体には大きなポイントとなる。
		駐留軍用地跡地の活用 (25)		(25)	■駐留軍用地跡地を活用した鉄軌道整備を求める意見

大分類	中分類	小分類	意見の概要		
現状及び課題、将来像、評価の視点について（ステップ2） (7004)	将来像・対策について (2705)	フィーダー交通との連携／充実 (235)	(212) ■既存交通との連携を図り、乗り継ぎがしやすく隅々まで行き届いた交通サービスを求める意見		
			(1) (県民会議共通意見) ■県民生活、地域振興、観光などの観点からも隅々まで行き届いた交通サービスが必要。		
			(19) ■駅までの距離が遠いと利用しないのではないかという意見		
			(1) (関係機関等意見交換会意見) ■LRT等の整備により既存の市街地の活性化も期待できる。		
			(2) (市町村会議意見) ■フィーダー交通のあり方については、十分検討すべき。		
		車利用 (89)	(62) ■鉄軌道が導入されても、自家用車やレンタカーを使う人は多く、車社会は変わらないと思う。		
			(13) ■鉄軌道ではなく道路整備を求める意見		
			(11) ■自動車の利便性も確保してほしい。		
			(2) ■自動車業界等への影響を懸念する意見		
			(1) ■その他		
		地球・自然・生活環境 (108)	地球環境 (77)	(77) ■自動車利用が減ることにより、排気ガスやCO2の排出量の削減が図られ、環境改善が期待できる。	
			生活・自然環境 (31)	(11) ■騒音等生活環境の悪化を懸念する意見。 (20) ■整備に伴う自然環境への影響を懸念する意見。	
		財政負担 (74)	その他 (188)	(27) ■県財政に負担にならないか、税負担が増えないか心配だ。	
				(13) ■税金のムダ。	
				(31) ■国の予算で導入してほしいとする意見	
				(3) ■国へ要望するのではなく、事業費は沖縄県民が負担すべき。	
				(42) ■将来の姿の実現に向けた対策を計画的、段階的に進めることはいいことだとする意見	
		評価の視点 (3866)	事業による効果 (1535)	県土の均衡ある発展 (361)	(134) ■沖縄の経済・観光の振興の観点が重要
					(157) ■均衡ある発展、地域の活性化、地域間交流という観点が重要
					(46) ■人口増加や定住化促進、観光客増加等による北部の振興という観点が重要
					(15) ■通勤・通学圏の拡大等、北部振興の観点が重要
					(9) ■北部のまちづくりの観点が重要
			観光リゾート地の形成 (116)	高齢者を含めた県民及び観光客の移動利便性の向上 (555)	(116) ■移動時間短縮による移動圏域の拡大、移動手段の選択肢拡大等観光客の移動利便性の観点が重要
	(46) ■定時性が重要				
	(100) ■移動時間短縮、移動の快適性等が重要				
	(50) ■通勤・通学圏拡大の観点が重要				
	(167) ■子供、高齢者等の視点、及び利用しやすい環境づくりが重要				
	中南部都市圏の交通渋滞の緩和 (253)		まちづくり (92)	(85) ■交通事故の減少など、安全・安心の観点が重要	
				(23) ■鉄道事故や人身事故が発生する可能性があるため、安全性を重視してほしい。	
				(30) ■公共交通利用転換による健康増進の観点が重要	
				(54) ■県民及び観光客等、利用者の視点を重視すべき。	
				(241) ■渋滞緩和が重要（評価）	
	まちづくり (95)	駐留軍用地跡地の活用 (3)	(12) ■渋滞緩和や時短による経済効率が向上するかが重要（評価）		
			(90) ■市街地形成、駐車場整備など駅周辺のまちづくりの観点が重要		
			(2) (市町村会議意見) ■自動車による鉄軌道までのアクセスとして、駐車場整備の検討は必要		
	低炭素社会の実現 (155)	まちづくり (95)	(3) ■跡地の活用を重視すべき。		
			(155) ■地球環境に配慮した視点が必要だ。		

大分類	中分類	小分類	意見の概要		
現状及び課題、将来像、評価の視点について（ステップ2） (7004)	評価の視点 (3866)	費用対効果 (131)	(131) ■費用対効果（利用者数等）の視点が重要		
		採算性分析 (318)	採算性分析 (7)	(164) ■鉄軌道が赤字にならず、事業の継続性が重要という意見 (市町村会議意見) ■運営主体の採算性が課題。	
			(178)	(7) ■赤字経営や過疎化の加速など、採算が取れなかった場合の対応をあらかじめ想定しておく必要がある。	
			利用料金 (140)	(139) ■利用料金が重要（評価） (1) (関係機関等意見交換会意見) ■利用料金等、利用者に必要な情報提示が必要	
		経済性 (120)	事業費 (120)	(29)	■出来るだけ事業費を抑えてほしい。
				(46)	■事業費の視点が重要
				(44)	■事業費の捻出が必要だ。
				(1)	(市町村会議意見) ■鉄軌道整備に係る地元市町村の財政負担
		施工性 (47)	事業期間 (42)	(20)	■土地取得に時間がかかり、事業期間が長くなることが心配。
				(21)	■早期実現を望む。 (市町村会議意見)
	(1)		■評価項目に施工性があるが、実際の工事よりも用地買収や都市計画決定の手続きに時間を要するためその点にも留意すべき。		
	生活・自然環境への影響 (277)	自然環境 (231)	(5)	■工事に伴う自動車交通への影響が懸念される。	
			(56)	■自然とのバランスを考えた沖縄らしい計画にしてほしい。	
			(136)	■自然環境への影響が心配、最大限配慮してほしい。	
		景観 (25)	(28)	■自然保護を第一に考えてほしい。	
			(11)	■長期的視点で、導入後まちづくりが進んだ後の影響を考慮すべき。	
		騒音 (21)	(13)	■沖縄らしい街並みなど景観の観点から残すべきだ。	
			(12)	■海、街並みなど景色を楽しめるルートが重要	
	その他視点 (218)	貨物 (8)	(21)	■騒音に関する視点が重要だ。	
			(7)	■流通面の視点が重要。	
		交通事業者への影響 (60)	(1)	(関係機関等意見交換会) ■経済的側面での利便性、物流についても考慮してほしい。	
			(59)	■既存交通事業者への配慮が必要だと思う。	
			(1)	(関係機関等意見交換会意見) ■鉄軌道の影響を受ける既存の交通事業者の経営を考慮すべき。	
		自然災害への対応 (26)	(25)	■台風襲来や災害等に対する耐災害性の視点も必要。	
			(1)	■その他	
		フィーダー交通ネットワーク (124)	(25)	■全地域をカバーしているか、利便性の観点が重要。	
			(98)	■家から駅へのアクセス等、公共交通ネットワーク構築の視点が重要。	
			(1)	(関係機関等意見交換会意見) ■基幹軸だけでなく、フィーダー交通もセットで評価を行う必要がある。	
	幅広い視点で評価すべき (1220)		(177)	■全ての視点が重要	
			(607)	■複数の視点が重要	
			(196)	■移動の利便性（通勤・通学圏の拡大、速達性、渋滞緩和）の視点が重要	
			(117)	■県民生活（安全・安心、健康増進等）の視点が重要	
(43)			■地域活性化（定住化促進、地域間交流、地域産業の活性化）の視点が重要		
(20)			■観光振興（観光客の移動利便性、移動圏域の拡大）の視点が重要		
(24)			■まちづくり（コンパクトなまちづくり、駅周辺のまちづくり）の視点が重要		
(15)			■地球環境（CO2削減）の視点が重要		
(21)	■その他				

大分類	中分類	小分類	意見の概要		
計画内容に関する意見（ステップ3以降） (1244)	対策案の設定 (1244)	起終点 (302)	(84) ■那覇一名護間への整備を求める意見 (19) ■特定の地域までの整備を求める意見 (198) ■那覇以南、名護以北への整備を求める意見 (1) ■その他		
		ルート (244)	(51) ■沖縄本島を網羅するルートを求める意見 (28) ■本島の東側を通るルートを求める意見 (4) ■東西格差を解消するため東側ルートを求める意見 (46) ■本島の西側を通るルートを求める意見 (7) ■人口・観光施設の立地状況等から西側へのルートを求める意見 (6) ■東西を横断するルートを求める意見 (74) ■複数(東側、西側、環状線等)のルートを求める意見 (16) ■観光・車窓からの景観の観点から海岸線ルートを求める意見 (1) ■埋立ルートは避けてほしいとする意見 (8) ■329号や沖縄自動車道の活用に関する意見 (3) ■その他		
		導入システム (485)	(131) ■路面電車(LRT)の導入を求める意見 (1) (関係機関等意見交換会意見) ■LRTが整備されれば、既存のバス会社が運営すべきと考える。 (1) (関係機関等意見交換会意見) ■車では名護まで1時間で行ける。ストロー効果なども含め、総合的に那覇一名護を一時間で結ぶという前提だけでなく、LRTにすることも含めて幅広い議論をやっていけるような提示をしてほしい。 (12) ■工期が短く、費用が少ない環境面で優位性のあるLRTを導入してほしいとする意見 (29) ■バス・BRTで良いとする意見 (9) ■費用が少ないBRTを導入してほしいとする意見 (119) ■モノレールの導入、延伸を求める意見 (87) ■鉄道・リニア・新幹線などを導入してほしいとする意見 (12) ■スピード、輸送力の観点から鉄道等を導入してほしいとする意見 (13) ■海上交通の整備で良いとする意見 (59) ■道路、歩道、自転車等の整備の充実を求める意見 (6) ■道路等の有効利用を図り、現状のまま新たな整備を行わないとする意見 (6) ■その他		
		駅の位置 (62)	(32) ■特定の場所への駅整備を求める意見 (15) ■多くの人々が利用しやすい場所への駅整備を求める意見 (12) ■多くの人々が利用しやすいよう駅数を増やしてほしいとする意見 (3) ■その他		
		事業主体	(13) ■民間の活力を活用して、整備・運営してほしいとする意見 (6) ■公的機関を主体に運営してほしいとする意見 (22) ■その他 (3) ■その他		
		段階的な整備	(15) ■できる所から、又は一部の地域から先行して整備してほしいとする意見 (29) ■基幹ルートから先に整備すべきとする意見		
		導入空間・用地・構造 (88)	(24) ■既存の道路の活用を求める意見 (20) ■新たな用地の取得が課題とする意見 (43) ■高架、又は地下構造での整備を求める意見 (1) ■その他		
		関連する整備 (19)	(19) ■市街地の整備や活性化を同時にすすめてほしいとする意見		
		その他 (2)	(2) ■その他		
		その他 (2681)	その他（鉄軌道事業以外に関する行政への要望・提案） (82)	(8) ■空港を拡張・新設してほしい。 (74) ■その他	
			その他（質問） (11)	(10) ■用語がわからない。 (1) ■その他	
			その他（賛否のみの意見） (2153)		
			その他 (435)		
		ステップ1に関する意見		642	
		ステップ2に関する意見		7,004	
		ステップ3以降に関する意見		1,244	
		その他意見		2,681	
		意見総数		11,571	